

尾花沢市の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

・人口減少等の地域全体の課題は……。

年少人口の減少が続いており、学校統合を推進している。

学校部活動の継続困難と生徒のニーズに対応できない

・地域移行の取組の現状は……。

部活動の任意加入制度の導入

部活動の休日活動の地域移行を実施

・地域移行を進める上での課題は……。

移動手段の確保（バス運行）と 受益者負担による保護者負担の増

地域クラブ活動等の概要

中学校数	2 校	全生徒数	2 9 0 人
域内の部活動数	1 2 部	実施した地域クラブ数	1 5 クラブ
全体の指導者数	4 4 人	全体の運営スタッフ数	4 5 人
主な運営団体	おばなざわ未来クラブ（教育委員会設立）、保護者運営団体、スポーツ少年団、クラブチーム		
主な種目	軟式野球、バレーボール、陸上、ハンドボール ほか6競技		
平均的な活動回数	3 回/月 (休日活動のみ)	年間平均参加生徒実数	3 年：5 人/クラブ 2 年：4 人/クラブ 1 年：3 人/クラブ
参加会費	1・2年5,000円/年 3 年 3,000円/年	主な活動場所	市内公共施設 中学校

地域展開関連の取組・成果

①市内2校にある全ての部活動で休日活動の地域移行を実施

・令和6年度から完全移行となった。支援を継続している。

②指導者研修会を年2回実施し、生徒の安全な活動を推進

・消防本部、隊員の協力を得て安全講習、大学教員による研修を実施

③行政支援として、休日活動の施設確保、スクールバス運行、保険加入、部活動地域移行コーディネーターの配置を実施

運営体制図・ロードマップ (自治体独自)

尾花沢市学校部活動の地域連携・地域移行支援協議会
～子どもの成長・やる気・未来を地域で応援～



新たなスポーツ・文化環境の構築推進

- ・関係者の合意形成
- ・事業方針の決定
- ・実践の検証

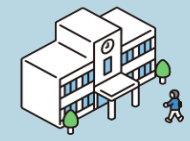
おばなざわ未来クラブ

陸上 料理 パソコン 映像

※クラブ活動の例
児童・生徒のニーズに応じて
クラブを設置する

- ・コーディネーター 1～2名
- ・既存部活にない新規活動の設置
- ・2校を合わせて休日部活動
- ・学校、団体、市との調整
- ・指導者育成及び研修
- ・education-bank（人材バンク）

福原中学校・尾花沢中学校



- ・任意加入制度の導入
- ・複数顧問の配置
- ・部活動数の精選
- ・合同部活動の取り組み

尾花沢市の部活動改革の取組み

活 動 の 様 子

